

トランザクションを使う

<http://hrm.fixa.jp/as400/AS4001/jrnl.htm>

手順

ジャーナル・レシーバの作成

```
CRTJRNRCV JRNRCV(ALIB/FJRNRCV) THRESHOLD(5000)
```

ジャーナル作成

```
CRTJRN JRN(ALIB/FJRN) JRNRCV(ALIB/FJRNRCV) MNGRCV(*SYSTEM) DLTRCV(*YES)
```

- ・レシーバの管理 (M N G R C V)
 - ・ * S Y S T E M : 上記レシーバサイズに達すれば自動で切り離し新たに作成します。
 - ・ * U S E R : 手動で切り離し新たに作成します。
- ・レシーバの削除 (D L T R C V)
 - ・ *YES とすれば切り離したジャーナルレシーバを自動で削除します。

物理ファイルに対して行う場合のジャーナル開始、終了処理

- ・開始

```
STRJRNPF FILE(ALIB/FILEA ALIB/FILEB) JRN(ALIB/FJRN)
```

プログラムを動かす前には必ず、これが必要です。

- ・終了

```
ENDJRNPF FILE(ALIB/FILEA ALIB/FILEB)
```

論理ファイルに対して行う場合のジャーナル開始、終了処理

- ・開始

```
FILE(ALIB/FILEAL1 ALIB/FILEAL2) JRN(ALIB/FJRN1)
```

プログラムを動かす前には必ず、これが必要です。

- ・終了

```
ENDJRNAP FILE(ALIB/FILEAL1 ALIB/FILEAL2)
```

コミットメント制御

RPG や CL でトランザクションを利用する場合は、コミットメント制御を開始する必要がある

- ・コミットメント制御開始

STRCMTCTL

- ・コミットメント制御終了

ENDCMTCTL

その他の操作

ジャーナル・レシーバの一覧

WRKOBJ OBJ(*ALL/*ALL) OBJTYPE(*JRNRCV)

でジャーナルレシーバの一覧が表示される

ジャーナル削除

DLTJRN JRN(ALIB/FJRN)

ジャーナルが起動済か確認

物理ファイルの情報を表示してジャーナル処理中やジャーナル名を確認する